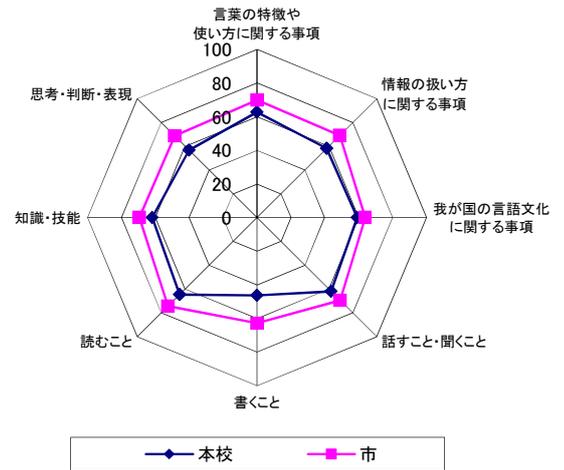


# 宇都宮市立宝木小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方にに関する事項	62.7	69.9	72.3
	情報の扱い方にに関する事項	58.2	69.2	73.0
	我が国の言語文化に関する事項	59.2	63.8	66.0
	話すこと・聞くこと	61.9	69.5	71.5
	書くこと	46.3	62.8	67.1
	読むこと	64.6	74.4	73.7
観点別	知識・技能	61.8	69.4	71.9
	思考・判断・表現	56.7	68.8	70.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	本校の平均正答率は、市の平均よりもやや低い。 ○「敬語についての正しく理解しているか」を問う問題の正答率は98%と、市の平均より0.8ポイント高い。 ●文と文との接続に関する問題の正答率は、市の平均と比べて21ポイント低い。他の問題より市の平均を大きく下回り、無回答の児童も多い。	・敬語の使い方については、日常生活の中での指導も含め継続的に指導することで、理解するだけでなく活用できる力も身につけていく。 ・文のつながりが理解できるようにするため、接続詞や指示語に気を付けて文を読む指導を繰り返し行っていく。また説明文の読み取りなどで、ポイントを絞った指導をしていく。
情報の扱い方にに関する事項	本校の平均正答率は、市の平均より低い。 ○情報と情報との関係を理解して、情報の整理を短文で回答する問題の正答率は市の平均の70%より高い。 ●目的に応じて情報を整理し、簡単な記述で回答する問題においては、市の平均より9.7ポイント低い。	・情報を読み取り、自分の言葉にまとめる学習を繰り返し取り入れることで、短文で書く力を育てていく。その際、必要な情報が何か意識できるよう、複数の情報の中から選択する経験を多く取り入れていく。
我が国の言語文化に関する事項	本校の平均正答率は、市の平均より低い。 ○無回答者は0%であり、全員が問題の意味をしっかりと考え、正答しようと問題に挑んでいた。 ●和語、漢語、外来語についての理解を問う問題では、市の平均との差が4.2ポイントと下回った。	・和語、漢語、外来語のちがいが理解できるよう、今後、授業の中で取りあげた言葉がどれに当たるのかを区別させるなど、言語文化に触れる機会を設けていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均より低い。 ○意図に応じて質問を工夫する問題の無回答率は0%。他の問題に比べ低い。 ●意図に応じて話の内容をとらえる問題の正答率は、市の平均より4.9ポイント低い。	・聞く力を育てるために、話の聞き方を日常的に指導していく。その上で、ただ聞くだけでなく話し手が何を伝えたいのかを意識しながら聞けるよう、聞くポイントを例示するなどの工夫を取り入れていく。
書くこと	平均正答率は、他の項目に比べて大きく下回っている。 ○自分の意見とその理由を書くことができる児童は58.2%であり、半数以上の児童が書くことができた。 ●指定された長さ、構成など条件を複数満たす問題では、市の平均よりも26.4%低い。また、無回答の児童も26.5%と多い。	・自分の意見を書く活動を他教科の中でも取り入れ、書くことに慣れさせるとともに、継続的に日常的に指導を行っていく。その際、条件や段落構成を指定するなど、目的に合わせた文章が書けるよう指導していく。
読むこと	平均正答率は、市の平均より低い。 ○説明文より、物語文の方が正答率が高く、登場人物の心情に関する問題は83.7%の正答率であった。 ●説明文での文章構成把握の問題では48.0%であり、市の平均を13.3%下回った。	・朝の読書や図書室利用日などを積極的に活用し、本を読むことに慣れさせるとともに、興味のある本だけでなく、幅広い分野の本や文の構成にも触れられるよう、並行読書やブックトークなどの活動を取り入れていく。